

## きれいな水を守るため、ひとりひとりが出来ること・・・ 「廃食油」から「せっけん」をつくらう！

水守人の会母ちゃん's (かあちゃんず) 主催のプリン石けん作りが4月14日保健センターを会場に7名が参加しおこなわれました。1リッターの廃食油から約6リッターの石けんが作れるとのこと参加者からは「見た目もきれい、食べられそう」や「簡単にできる。オリジナル石けん挑戦したい」などの感想が聞かれました。手に優しい、環境に優しい…優しいことはキレイなことですね！



## 澄んだ水 空へ うちあげ

4月20日、ダム管理所を会場に七ヶ宿湖の噴水打上式が行われました。

当日は、保育所の子ども達も応援に駆け付け、噴水の打ち上げと同時に風船を飛ばし、噴水の打上式に花を添えていました。

七ヶ宿湖の噴水は、11月末まで打ち上げられます。



## カワイイ水芭蕉が咲きました



水芭蕉群生地オープン式(国道113号二井宿トンネル手前)が4月10日開催されました。

約10万株の水芭蕉が自生する県内有数の名所にシーズン中は約4万人が訪れるとのこと、当日はまだ咲き始めでしたが、その白色の美しさは水面に立つ妖精のようでした。

## 『身を守る 昔甲冑 今ベルト』作戦

春の交通安全運動が4月6日から15日までの10日間実施されました。

6日は出動式が行われ、期間中、各地区で街頭指導が行われました。

11日には、ダム湖畔において街頭キャンペーンが行われ、七ヶ宿町、白石市、蔵王町から約100名の関係者が参加、白石方面から七ヶ宿町に入ってきた約200名の運転者、同乗者の方々へ安全運転の呼びかけを行いました。

なお、平成21年4月4日にダム付近の国道113号線において死亡事故が発生しました。それにともない、交通死亡事故ゼロも4577日で途絶えてしまいました。これからは事故を起こさない、あわないように注意し、これまでの記録を上回るよう安全運転に心掛けましょう。



演題は「これからの地域づくりに求められるもの」

## 地域づくり講演会が開催されました

4月19日に七ヶ宿町活性化センターにおいて地域づくり講演会が開催されました。

講師は高崎経済大学の櫻井常矢先生を招いて、過疎や高齢化を踏まえた、これからの地域づくりについて講演をいただきました。参加者は元気な地域づくり委員やまちづくり検討委員、議会議員のほか自治会役員の方などを中心に70名を超える方が集まりました。

「なぜいま、地域づくりなのか」というお話から、これからの地域づくりについては「地域の課題は何か、地域の将来に向け、住民の方の話し合いの積み重ねが大切です」と語られ、次の世代にどのような地域を残すかという点では、新潟県田山古志村の事例などをあげ話されました。

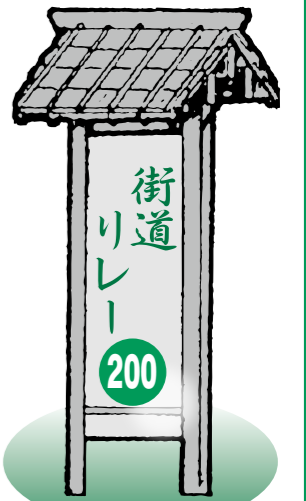
ユーモアを交えながら、核心を突いたお話には、参加したほとんどの方が「大変参考になった」「すばらしいお話だった」という感想を持ったようです。

元気な地域づくり交付金事業を通して、町民のみなさんが地域のことを見つめ直しています。今回の講演内容はこれからの地域づくりに大いに役立つものとなりました。



街道リレーが200回目を迎えました。いろいろな方の考えていること、思っていることを紹介してきました。これからもみんなの気持ちをつなげていきたいと思えます。「次はぜひ書きたい!」という方、立候補お待ちしております!

## 「日々成長」



横川 永倉 香織 さん



私が七ヶ宿に来て丸7年半が経ちました。その間にいろいろな事がありました。そのなかでも、3人の子の母親になった事が一番大きく変わった事です。もちろん一度に3人の子持ちになった訳ではないのですが、子どもが1人増える度に生活スタイルや価値観、物の考え方が少しずつ変化していききました。日常生活における事に購入する時も、まずは子どももの事、物になりました。時間の使い方も、自分に対してより子ども達に使う方

が断然多くなりました。以前の私だったら、何ともあれまずは自分の事が第一だったのですが、今はそういう事がほとんどないように思えます。人の親になるということ、決して楽じゃないし、簡単な事ではない。でも、子ども達と共に少しずつ成長し、それを実感できるのは人としてとても有意義な事だと思います。まだまだ未熟な私ですが、子ども達と一緒に日々成長していったらいいなあと思っています。

次回は小野寺洋子さん(横川)にリレーされます。